

誰ひとり取り残さない 社会の実現のために

—海外と日本の日本語教育・日本語支援の現場から考える—

2018 **11/18**

13:30~16:00 (13:00開場)

シンポジウム

現在日本で労働者、留学生、子供たちなど様々な外国人が暮らしています。それぞれの外国人が目的を持って日本にきました。

言葉の壁で仕事が手に入らない外国の人々、言葉の壁でいじめを受ける子供たち、言葉の壁で震災で命を落とした外国の人々。

彼らの為に私達ができることは何でしょうか

プログラム

1. パネリストの報告：海外での日本語教育、教育支援と帰国後の活動
元JICA日系社会青年ボランティア 現 JOCA大阪職員 遊川 章宏氏
「ブラジルの日本語教育から」
元JICA青年海外協力隊 現 藤戸台小学校 教諭 新江 涼加氏
「アフリカ・セネガルでの教育支援から」
2. パネリストの報告：国内での日本語教育、日本語支援の目指すもの
(公財)和歌山県国際交流協会 国際交流コーディネーター 奥 直子氏
「和歌山県在住外国人や外国の子どもへの支援と現状の課題」
和歌山大学研究グローバル化推進機構国際連携部門副部門長 長友 文子氏
「日本語教育、日本語支援が目指すもの」
3. 質疑応答

会場 和歌山大学
東1号館(基礎教育棟)
1階 G-102(入場無料)

〈大学内の地図〉

<http://www.wakayama-u.ac.jp/about/c-map.html>

QRコードを読み込んでください
地図の17番です

(アクセス) 南海和歌山大学前駅から和歌山バスで約4分、徒歩20分
詳細はこちら→<http://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>



主催 和歌山大学 研究グローバル化推進機構 国際連携部門
お問い合わせ

〒640-8510 和歌山市栄谷930 TEL:073-457-7522 Email: kokusai@center.wakayama-u.ac.jp